

対策効果の検証結果

～各治水施設の水位低下や樋門閉鎖時間短縮の効果等を検証・評価結果について～

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和5年6月8日
中村河川国道事務所
高知県 河川課
四万十市

あいのさわがわ

相ノ沢川総合内水対策事業が初めて効果を発揮 ～令和5年6月洪水における治水効果について～

- 平成26年6月の梅雨前線豪雨により、^{くどう くすしま}真同・楠島地区(相ノ沢流域)では、相ノ沢川および楠島川沿川で内水により浸水面積約105ha、床上71戸、床下25戸の深刻な浸水被害が発生しました。
- これを受けて、四国地方整備局、高知県、四万十市の三者は、平成28年8月に『相ノ沢川総合内水対策計画』を策定し三者が連携しハード・ソフトの両面から総合的な内水対策として、排水樋門、放水路及び排水機場の工事を進めてきたところです。
- 令和5年6月の梅雨前線により、中筋川上流域で累計370mmの降雨を観測しました。この降雨により、中筋川の磯ノ川地点でピーク水位6.94mを記録し、氾濫注意水位5.5mを超える出水となりました。
- 今回の出水で、相ノ沢川及び楠島川流域のうち27haが浸水しましたが、事業を実施していなかった場合の浸水面積は64haと推定され、この事業により、国道56号道路冠水による通行止めの回避及び浸水面積を約6割減少出来たものと考えられます。

【本施策は、四国圏広域地方計画「No.1南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト」の取組に該当します。】

(問い合わせ先) ◎:主たる問い合わせ先

【治水効果及び事業全体に関する問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所 電話：0880-34-7301 (代表)

副所長(河川)：宮崎^{みやざき} 泰典^{やすのり} (内線:204)

◎計画課長：宮地^{みやじ} 憲一^{けんいち} (内線:261)

高知県 土木部 河川課 電話:088-823-9838(直通) (放水路関連の問い合わせ先)

課長補佐：福留^{ふくどめ} 章洋^{あきひろ}

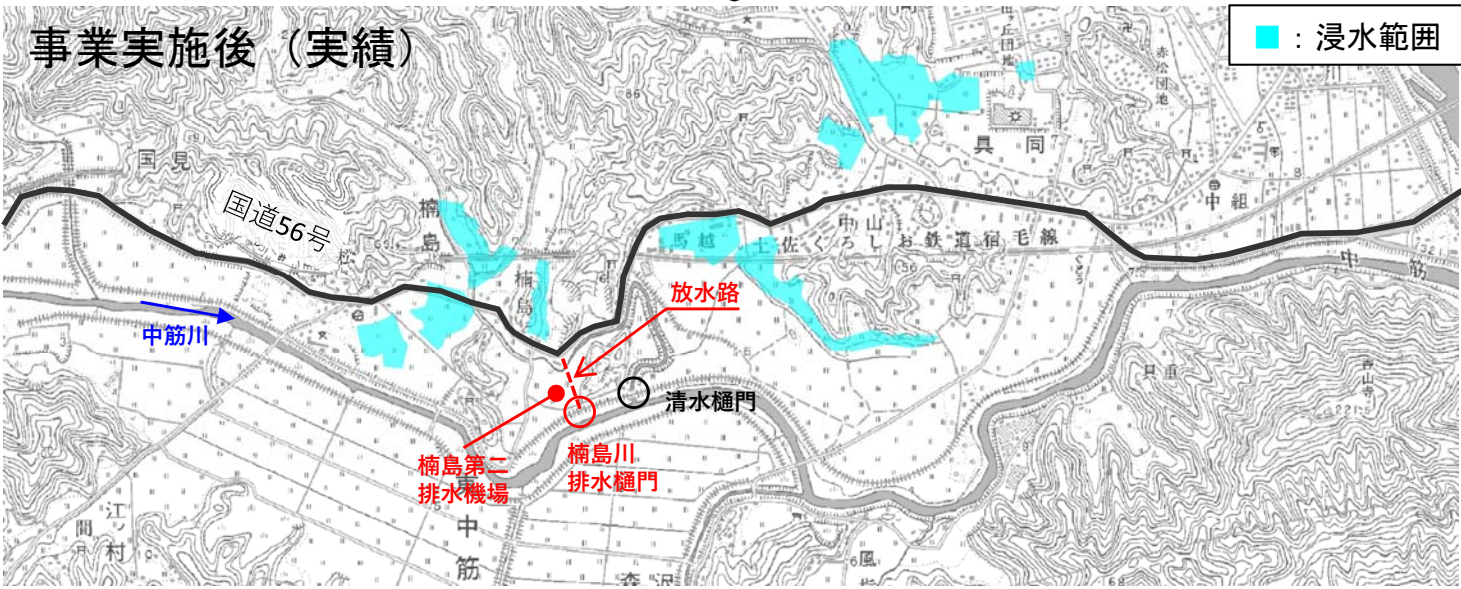
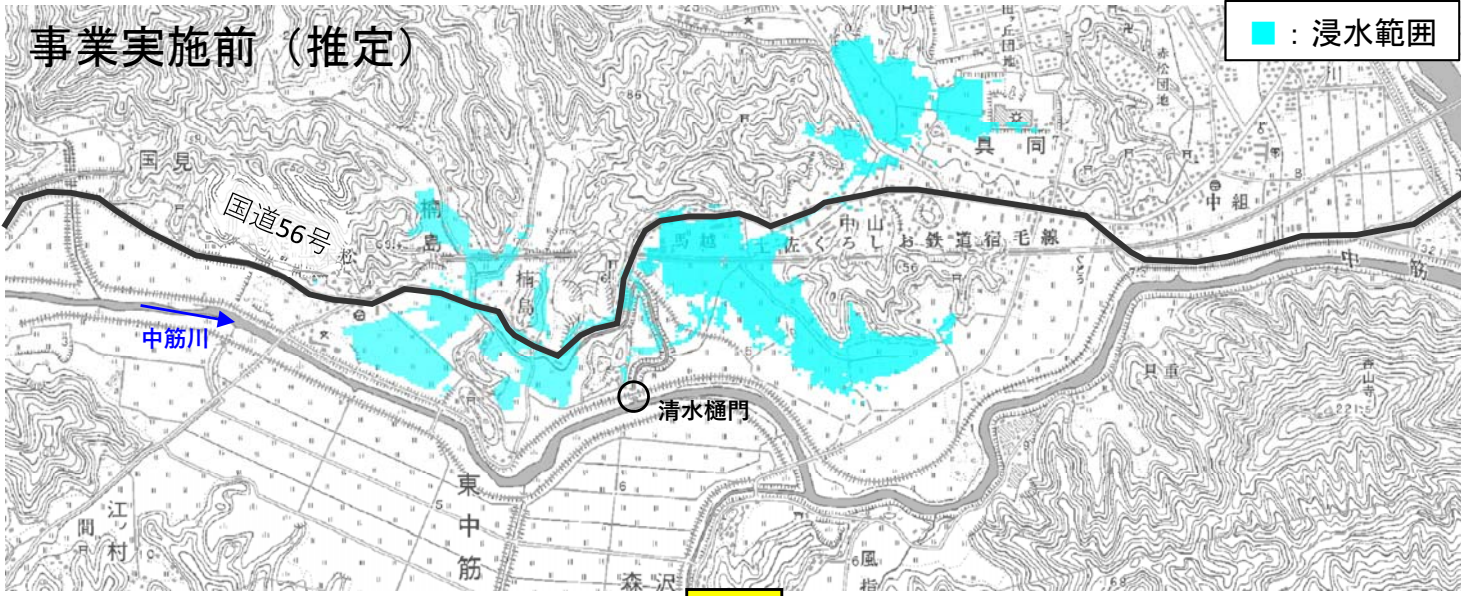
◎チーフ(計画担当)：坂本^{さかもと} 裕之^{ひろゆき}

四万十市 まちづくり課 電話:0880-34-6127(直通) (排水機場関連の問い合わせ先)

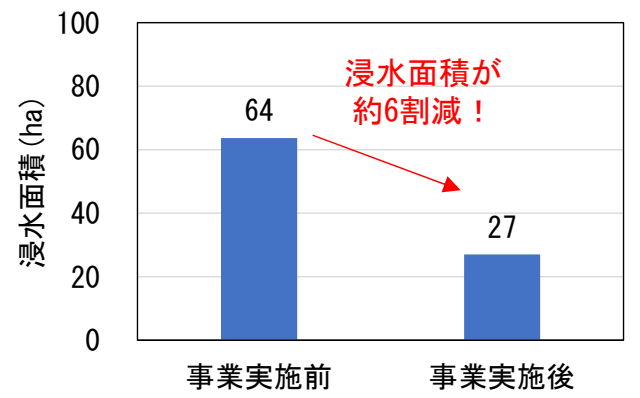
◎課長補佐：津野^{つの} 智宏^{ともひろ}

相ノ沢川総合内水対策事業の効果

○今回の出水で、相ノ沢川及び楠島川流域のうち27haが浸水しましたが、事業を実施していなかった場合の浸水面積は64haと推定され、この事業により、国道56号道路冠水による通行止めの回避及び浸水面積を約6割減少出来たものと考えられます。



楠島第二排水機場排水状況



※本資料の数値等は速報値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

内水対策計画の整備メニュー

ハード対策

国土交通省

- ・楠島川放水路の排水樋門の新設
- ・排水ポンプ車による内水排除
- ・横瀬川ダムの整備 など

高知県

- ・相ノ沢川と楠島川の河川改修
- ・楠島川の放水路新設 など

四万十市

- ・既存の雨水貯留施設の改修
- ・排水機場の新設 など

ソフト対策

国土交通省 + 高知県

- ・河川水位、内水センサーなどの情報提供体制の整備

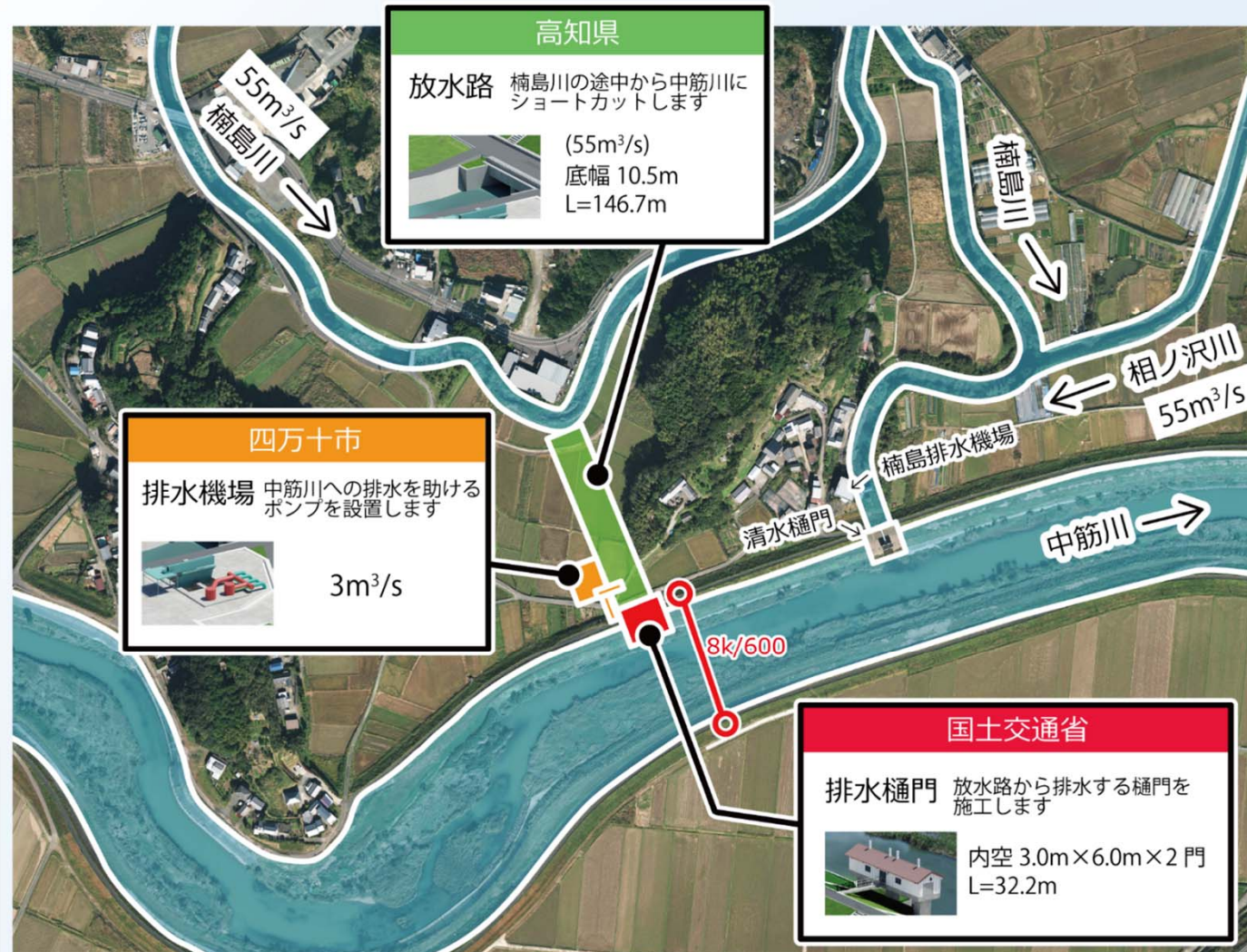
四万十市

- ・ハード対策の整備効果を維持するため土地利用に関するルールづくり
- ・防災意識の向上と避難体制の充実のため住民への防知情報の提供
- ・防災訓練の実施 など



三者が一体となって整備

排水樋門・放水路・排水機場が令和5年6月より運用開始



楠島川改修（高知県）

放水路
（高知県）

◆放水路の諸元

- ・ (55 m³/s)
- ・ 底幅 10.5m
- ・ L = 146.7m

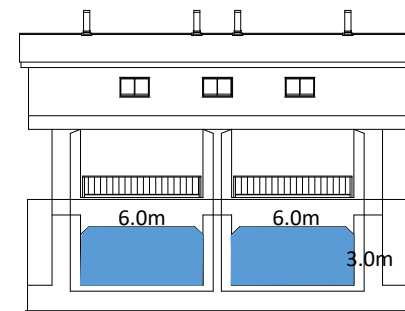
楠島第二排水機場
（四万十市）

◆排水機場の諸元

- ・ Φ800水中ポンプ 2基
（総排水量3m³/s）
- ・ 自家発ディーゼルエンジン 2基
- ・ 発電用燃料地下タンク 1基
- ・ 除塵機 1基
- ・ 機械格納建屋（待機室含） 1基

◆排水樋門の諸元

- ・ 幅 6.0m
- ・ 高さ 3.0m
- ・ 門数 2門
- ・ 延長 32.2m
- ・ ローラーゲート 2門



楠島川排水樋門
（国土交通省）

中筋川→

